

## 「ミヤマクワガタ」

クワガタはカブトムシと並んで、子どもたち(特に男の子)に絶大な人気を誇る甲虫です。その中でも「里のノコギリクワガタ」「山のミヤマクワガタ」が二大巨頭と言えるでしょう。

ミヤマクワガタ(深山鋏形)は「深山」の字を冠してはいますが、高山の昆虫というわけではなく、高原であれば普通に見られます。ノコギリよりも涼しい環境を好むのです。北軽井沢は標高 1100 メートル前後の冷涼な気候で、ミヤマの生育環境に非常に適しているのです。アゴの形状で「サト型(フジ型)」「ヤマ型」「エゾ型」に分けられます。「エゾ型」は北海道の平地～山地、本州でも標高の高い土地にいます。北軽井沢には「エゾ型」が多いようです。今年も何匹も見ることができました。



「ミヤマクワガタ♂」 *Lucanus maculifemoratus*

夜間に山荘テラスの明りをつけておき、朝になると壁にとまっています。非常に簡単に捕獲できます。第一内歯と先端の二股の形状から「エゾ型のオス」と思われます。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)